

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	津山美由紀
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3352
事務事業名	4112 健康増進事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費					
	事業	020000 健康増進事業					
事業目的				事業概要・効果			
健康づくりの指標となる「第2次須坂市健康づくり計画」に基づき、保健指導、健康講座などを行い、生涯を通じて生活習慣病予防を主体的に実践する市民を増やす。				「生涯健康都市すざか」を目指し、市民1人ひとりが「自分の健康は、自分でつくり守る」ために健康増進に関わる事業を実施する。健康に対する意識を持ち実践する市民を増やすことで、生涯にわたり健康で暮らせる須坂市を目指す。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
全地域公民館とおでかけ健康教室、健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など	全地域公民館とおでかけ健康教室、健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	「体重計にのろう」実践の表彰				
算式	累計表彰者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	358	394	430	466	500
指標選定の理由	生活習慣病予防を主体的に継続的に実践している指標として設定				
最終年度目標の根拠	26年度の実績を基に算出（年間36人表彰）				
指標名					
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値					
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		8,051	16,853
特定財源	国庫支出金	773	0
	都道府県支出金	858	445
	地方債	0	0
	その他	65	6,308
一般財源		6,355	10,100
人員数(人)	正規職員	1.8	1.9
	嘱託職員	2.9	1.9
	臨時職員	0.1	0.3
人員コスト	正規職員	12,974.4	13,695.2
	嘱託職員	7,844.5	5,139.5
	臨時職員	103.0	309.0
	計	20,921.9	19,143.7
市民一人当たりの経費		0.6	0.7
総額		28,972.9	35,996.7

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	588	健康教室講師謝礼 健康づくり継続実践者賞賜金
11節 需用費	3,590	健康教室、食育事業事務用品 健康カレンダー、ウォーキングマップ印刷製本費
13節 委託費	209	おでかけ健康教室 尿中塩分測定検査
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	429	健康まつり実行委員会負担金 研修会負担金
その他	3,235	臨時職員賃金 2844 費用弁償 138 役務費118 バス借上料 135

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	4,522	健康教室講師謝礼、創生プロジェクトマネージャー謝礼 創生プロジェクトセミナー等講師謝礼、康づくり継続実践者賞賜金
11節 需用費	3,642	健康教室、食育事業事務用品 健康カレンダー、ウォーキングマップ印刷製本費
13節 委託費	625	創生プロジェクト健康講座委託料、 おでかけ健康教室、尿中塩分測定検査
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	640	健康まつり実行委員会負担金 研修会負担金
その他	7,424	臨時職員保険料 228 臨時職員賃金 5491 費用弁償435 役務費 620 使用料 650

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	健康維持増進のために継続した取り組みが必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	「体重計にのろう事業」など個人で取り組めるものや健康教室など集団で参加する講座など自分で選択できる内容になっている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	受益者負担の見直しは行っている。実施内容を確認して教室などの開催方法は見直す。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

27年度より健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクト実施している、継続して取組むために事業目標を立てて進める。
おでかけ健康教室では、運動、食事について学ぶ講座を地域公民館単位10会場で実施。リピーターや参加人数を評価し、29年度以降見直しを行う。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>公民館と共催の健康教室は開催方法、内容の改善が必要 須坂JAPAN創生プロジェクト事業の目標に沿って進める必要がある。</p>		<p>多くの市民が健康増進に繋がる行動をしてもらうことは重要である。有効な取り組み体制を検討する。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	